

第二鰯ヶ沢地区広域漁場整備事業効果調査

(要 約)

高橋 宏和*

目 的

第2鰯ヶ沢地区広域漁場内の着底基質（日本コーケン：セッカブロック 20t 型）に生育するホンダワラ類等海藻等の水産生物の生育状況及びホンダワラ類等海藻へのハタハタ産卵状況を調査する。

材料と方法

1. ホンダワラの生育状況調査

平成23年7月及び9月に第2鰯ヶ沢地区広域漁場内に8調査地点を設定し、着底基質に生息する海藻の被度、底生動物の採取、魚介類の目視調査を行った。

2. ハタハタの産卵状況調査（広域漁場）

平成24年2月にホンダワラの生育状況調査と同調査地点において、海藻の被度、底生動物の採取、魚介類の目視調査を行うとともに、ホンダワラ類に付着するハタハタ卵塊について調査した。

3. ハタハタの産卵状況調査（天然漁場）

平成24年2月に鰯ヶ沢町地先において、海藻の被度、底生動物の採取、魚介類の目視調査を行うとともに、ホンダワラ類に付着するハタハタ卵塊について調査した。

結果と考察

1. ホンダワラの生育状況調査

調査範囲内で確認された海藻は、7月は緑藻1種（アナアオサ）、褐藻8種（エゾヤハズ、セイヨウハバノリ、ワカメ、ジョロモク、フシスジモク、アカモク、ノコギリモク、ミヤベモク）、紅藻10種（有節石灰藻、ツノマタ、アカバギンナンソウ、ムガデノリ、フダラク、キョウノヒモ、フシツナギ、ハイウスバノリ、ソゾ属、イソムラサキ）の計19種が観察された。9月は、緑藻2種（アナアオサ、ミル）、褐藻7種（スギモク、フシスジモク、アカモク、ノコギリモク、フシイトモク、ミヤベモク、マメタワラ）、紅藻9種（有節石灰藻、ツノマタ、アカバギンナンソウ、ムガデノリ、フダラク、フシツナギ、アミクサ、ソゾ属、イソムラサキ）の計18種であった。

2. ハタハタの産卵状況調査（広域漁場）

ホンダワラ類の種別、個体別にハタハタ卵塊の付着状況を調査したところ、ホンダワラ類6種（スギモク、ジョロモク、フシスジモク、アカモク、フシイトモク、ミヤベモク）が確認され、フシスジモクへの産卵が確認された。

3. ハタハタの産卵状況調査（天然漁場）

ホンダワラ類の種別、個体別にハタハタ卵塊の付着状況を調査したところ、ホンダワラ類6種（スギモク、ジョロモク、フシスジモク、アカモク、フシイトモク、ミヤベモク）が確認され、ホンダワラ類3種（フシスジモク、ジョロモク、フシイトモク）への産卵が確認された。

* 青森県農林水産部水産局水産振興課

発表誌：平成23年度第2鰯ヶ沢地区広域漁場整備事業効果調査業務委託報告書、青森県産業技術センター水産総合研究所、平成24年3月。